

中秋の名月と秋の長雨など



「中秋の名月」の季節です。秋は空気が澄んで夜空にはきれいな月や星を眺めることができます。月見の宴は中国では唐（618-907年）の時代に旧暦の8月15日に行われるようになったのが起源とされ、日本では、平安時代（889-913年）からとされています。しかし、そのお月見ですが実際には見られないことのほうが多いようです。

【秋の長雨～秋雨前線】

夏の高気圧が南へ後退し、代わって北の高気圧が勢力を広げてきます。この境目が「秋雨前線」で、ぐずついた天気が続きます。また、この時期に台風が接近すると前線の活動が活発となって大雨が降ることもあります。

よく、秋の長雨は梅雨と比べられますが、地域によって大きな違いがあります。大陸に近い西日本では梅雨の季節に大雨が降りやすくなります。秋の長雨のころには、太平洋高気圧が南下し、東日本には北東の冷たい気流が流れ込みます。このため東日本では、秋雨前線の活動が活発となり、雨が降りやすくなります。

長く続く雨により、土砂災害が起こりやすくなりますので注意が必要です。



【秋山登山】

10月となると、北海道の山では、初冠雪の便りが聞かれるようになります。初冠雪が一番早いのは十勝岳ですが、稚内地方気象台で観測を行っている利尻山では10月3日が初冠雪の目安です。秋の山も春山と同じく、3～4日の周期で天気が変わります。移動性高気圧に覆われた秋晴れも1～2日限りで、低気圧による悪天がすぐにやってきます。

低気圧が通過すると冬型の気圧配置に変わり、冷たい雨が降り、みぞれや雪になります。低気圧が通過するごとに気温が下がり、北西の季節風が強まり、その状態が続くようになります。秋の山も遭難が多い時期です。夏山気分が入山する人も多いですが、山では冬が始まっています。急激な冷え込み、冷たい雨や暴風雪に備える必要があります。



【紅葉前線】

各地のもみじなどが紅葉する日を結んだ線を、桜前線と同じように、紅葉前線とすることがあります。紅葉前線は、北から南へまた山頂からふもとのほうへと降りてきます。紅葉前線は、10月中旬に北海道をスタートし約1ヶ月以上かけ本州南岸まで南下します。

変りやすい秋の天候ですが、お月見や紅葉狩りなど上手に気象情報を利用して楽しんでください。

問い合わせ先 稚内地方気象台HP 稚内地方気象台防災業務課(電話:0162-23-2679)
http://www.jma-net.go.jp/wakkanai/index.html

八月定例俳句会

幌延ほおずき俳句会

墓石に畏まる 蠅許しけり

横山 貞雄

蠅止まる 孤独は人と居る時も

藤岡 芙美

銀蠅を追うが如きの軍政か

富樫とも子

纏いつく 蠅に込めたる恨みかな

熊谷千恵子

蠅止る時はみえない 蠅叩き

佐藤 光朗

蠅集る 放牛の糞とびとびに

田中 徹男



ほろのベウオーキングクラブの
完走者を紹介します！
宮園町 上野 あい さん
(9月5日到達)
歩くのに気持ちの良い季節になりました。まだ到達していない方は少し頑張ってみませんか？